

■伴淳三郎 喜劇俳優。転変後、映画コメディアンに復帰、「アジャパー」の叫びと"バンジュン"の愛称で一世を風靡。

ばんじゅんざぶろう

アジャパー 創刊・1908＝ 山形県米沢市に生まれた。

貧しい南画家を父にもち、幼いころから各地を転々とした。

明治天皇没・1912＝ 4歳：

ロシア革命・1917＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝13歳：

関東大震災・1923＝15歳：この頃、_東横鉄笛の付人として、剣戟が看板の大衆演劇に加わったりしたが、

円本時代始・1926＝18歳：

金融恐慌・ 1927＝19歳：_日活時代劇部の大部屋に入り、伴淳三郎を芸名とする。

やがて珍優として売り出すが、

満州事変・ 1931＝23歳：

いまひとつ"看板"になれないまま、映画界と演芸界をまたにかけてがんばる。

芥川直木賞始1935＝27歳：

日中戦争始・1937＝29歳：_新興キネマに入社、喜劇俳優として芽を出す。

日米開戦・ 1941＝33歳：

_太平洋戦争中から、浅草を本拠に"伴淳軽喜座"を主宰し、

年金+総武装 1944＝36歳：

敗戦・ . . . 1945＝37歳：

_戦後は"伴淳ショウ"の旗上げするが、全盛のストリップショーに押され、いずれも長続きはしなかった。

同棲中の清川虹子の仲介によって映画界に復帰すると、

独立回復・ 1951＝43歳：*斎藤寅次(二)郎監督の「吃七捕物帖・一番手柄」で廣金作りの用心棒を演じ、仕草が受け、本格的な映画力
ムバックを果たした。"アジャパー"と叫ぶのが、一世を風靡。

メーデー事件・ 1952＝44歳：*「歌くらべ荒神山」の怪浪人も不気味なこっけいさという持味の代表作といえる。

テレビ放送始・1953＝45歳：

_一躍人気コメディアンとなったが、1本の映画を背負って立つスターではなく、あくの強い怪演で、共演者
を食うときに生彩を放つタイプは一貫して変わらなかった。

国連加盟・ 1956＝48歳：_共演に花菱アチャコを配し、荒っぽいペースをきかせた「二等兵物語」シリーズ、

イスタトラメン・1958＝50歳：_森繁久弥、フランキー堺を向こうに回し、ねちっこい助平おやじタイプで場面をさらった「駅前」シリーズ(「駅前旅館」)などがその好例である。

安保闘争・ 1960＝52歳：

タイタイ病始・1961＝53歳：_「二等兵物語」シリーズは、この年まで続いた。

全国総合計画1962＝54歳：

_後年は(日本のコメディアン の通例にもれず)シリアスな"個性的な脇役"へと方向を転じ、

東京リトル 1964＝56歳：_内田吐夢の「飢餓海峡」の老刑事で、毎日映画コンクール男優助演賞を受けた。

全共闘・ . . . 1969＝61歳：*「駅前」シリーズは、この年まで続き、

ドルショック・ 1971＝63歳：

石油ショック1973＝65歳：

その後も、さまざまな映画に出演し続けたが、

貿易摩擦始・1980＝72歳：

. 1981＝73歳：食道静脈瘤破裂で_没した。

「この人どんな人」、平凡社百科事典、